

水辺愛護会通信



vol. 12

平成9年度に水辺愛護会制度はスタートし、現在94団体が各地で活動しています。（平成28年6月末時点）今回の愛護会通信ではテレビ番組での水辺愛護会活動紹介と、河川管理課から今年のイベントとあわせて、温暖化対策統括本部から温暖化に関するお知らせをお届けします。

水辺愛護会が



出演！

横浜市広報テレビ番組「ハマナビ」で、水辺愛護会「帷子川はふるさとの川の会」の活動が紹介されました。（放送日：4月30日）

「ハマナビ」とは、「横浜をマナビ、横浜をナビゲートする」をコンセプトに、本市の魅力や様々な取組を紹介する番組です。

取材は、水辺愛護会が活動する帷子川や、帷子川の魚たちを展示している旭区役所などで行われました。放送内容は、ハマナビ番組ホームページでご覧いただけます！（「ハマナビ」でご検索ください。）



取材の様子

水を感じる夏休み

「水の日」イベントに行こう！

横浜市は、8月1日に「水の日イベント」を開催します。

水辺愛護会ブースや打ち水大作戦、横浜市の水源の一つである道志村ブース等、「水循環」をテーマに様々なブースを用意しております。ぜひご来場いただき、身近な「水」と「涼」を感じてください！



○日時：平成28年8月1日（月） 11：00～15：00（荒天中止）

○場所：横浜公園 水の広場前

（JR京浜東北・根岸線 関内駅徒歩5分）

水辺愛護会表彰式・交流会を開催します！



永年良好な水辺環境の維持にご協力いただいている水辺愛護会の皆さまに感謝の気持ちをお伝えするために、表彰式を開催します。併せて、表彰式後に全体交流会も開催します。

表彰式については表彰対象団体さまに、交流会については全団体さまに詳細を別途お知らせします。皆さまお誘いあわせの上、ぜひお越しください。

○日時：平成28年10月28日（金） 13：00～17：00

○場所：情文ホール（横浜市中区日本大通11番地）

発行：横浜市道路局河川管理課 〒231-0017横浜市中区港町1-1

発行日：平成28年7月26日 電話：045-671-2855

【特集】みなさんの活動が地球を救う!?

～愛護会の活動で温暖化対策～

Q 最近、異常気象が世界各地で目立っているけど、これって

「地球温暖化」の影響?

A 地球温暖化も原因の一つです。

○私たちの暮らしに迫りくる地球温暖化



世界中で、強い台風やハリケーン、集中豪雨、干ばつや熱波などの異常気象による災害が各地で発生しています。横浜市でも、大雨による浸水被害や、猛暑による熱中症などが増えています。

【遊水地が被害を防ぐ】

遊水地は大雨の時に水が入って河川沿いの浸水を防ぐという役割を持っています。

泉区にある「和泉遊水地」は、通常スポーツ競技やイベント等にも活用される広場ですが、台風に伴う大雨の際には、水を貯え、被害を防ぎます。



普段の様子



大雨の際の様子

○皆さまのちょっとした工夫でできる温暖化対策

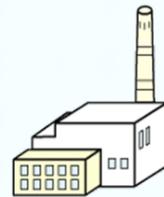
【刈草を乾燥（水分を減らす）】



乾燥→軽量化



運搬車両の燃費が向上



ごみを燃やすためのエネルギーが減少

二酸化炭素の
排出量が減ります!

【みどりの保全】

→樹木や草花は二酸化炭素を吸収し、酸素を放出してくれます。

【その他、ご家庭でできる取組】

- ・ハザードマップの確認・・・異常気象による災害から命を守る
- ・省エネ、ごみを減らす・・・二酸化炭素の排出量を削減